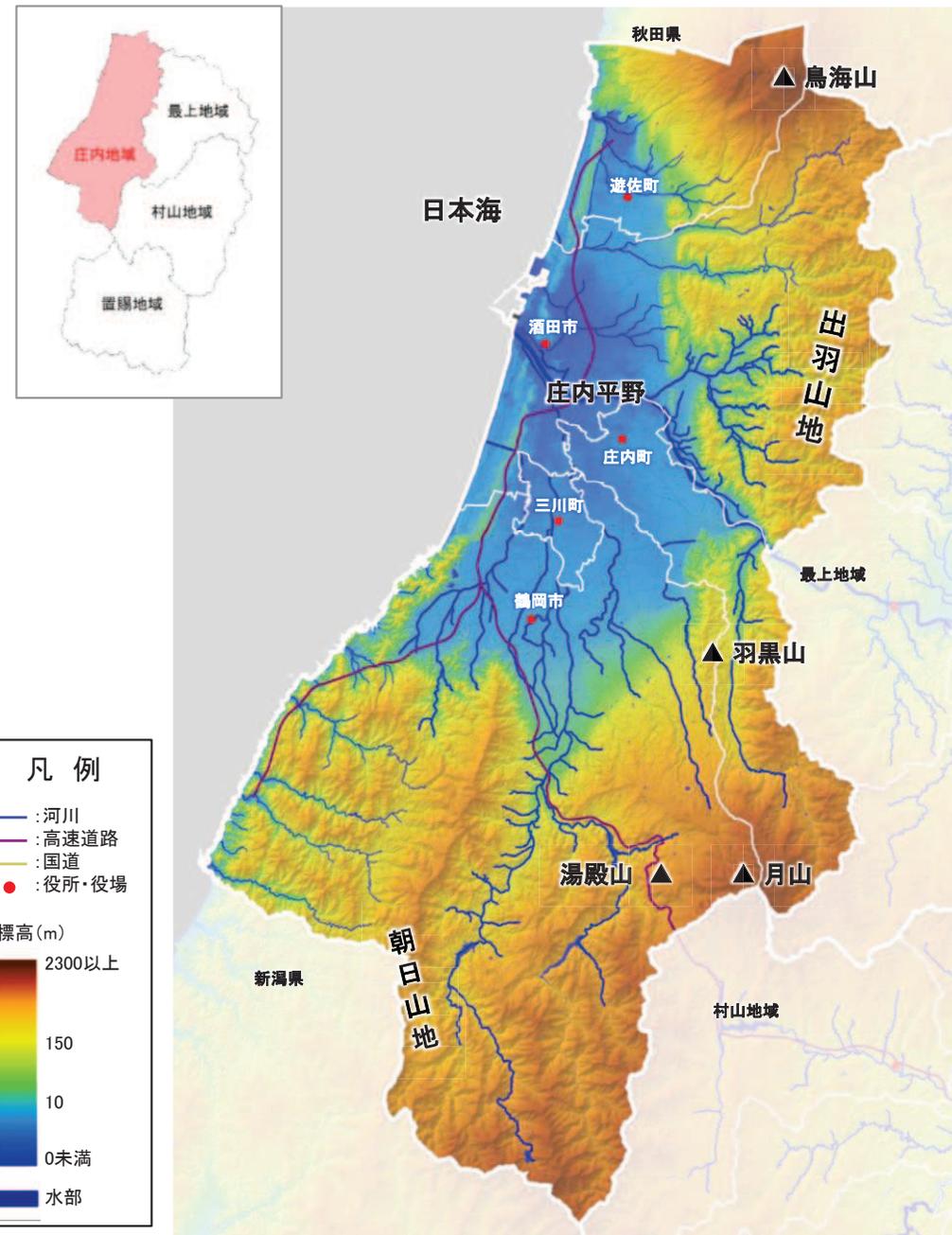


【参考資料】 自然の恵みと災害リスク 〈庄内地域〉

- 庄内地域は、東は出羽山地、南は朝日山地、北は鳥海山を境に秋田県と接するとともに、西は日本海に面した、山と海に囲まれた広大な庄内平野が広がる自然豊かな地域です。庄内平野は、日本有数の穀倉地帯として知られていますが、昔は「潟湖」という海と繋がる大きな湖であったと言われています。そこへ最上川や赤川などの河川が土砂を運び、堆積し、現在の広大な庄内平野が形成されました。
- 河川河口部の平坦な地形にあるため、一度氾濫が生じると平野の広範囲に及び、長期化することが想定されます。
- 冬季になると地吹雪により、たびたび視程障害や吹き溜まりによる交通障害が発生しています。



1. この地域の地形からもたらされる自然の「恵み」

(1) 豊かな大地が育む食文化

- 庄内地域では最上川や赤川などの河川により形成された広大な平野が広がっており、水稻耕作や果樹栽培などの農業が盛んです。地域の西側には日本海が広がり、四季それぞれに鯛や岩ガキ、ハタハタや鱈など豊かな海の幸が水揚げされ庄内地域の食文化を形成してきました。



出典：庄内観光サイト
図 山居倉庫



出典：庄内観光サイト
図 湯野浜温泉

(2) 最上川舟運の終着地と歴史

- 江戸時代には、最上川舟運の発達により内陸の物資が酒田から上方、江戸へと至る「西廻り航路」で運ばれ、酒田は経済や文化の交流の舞台となり、日本一の大地主「本間家」、廻船問屋「旧鎧屋」、「山居倉庫」など往時の文化や栄華を今日に伝えています。



出典：庄内観光サイト
図 玉簾の滝



出典：庄内観光サイト
図 天然岩ガキ

(3) 千年の歴史を持つ温泉地

- 湯野浜温泉、あつみ温泉、湯田川温泉は、いずれも開湯1,000年を超える温泉で、古来より湯治湯として賑わっており、特に湯野浜温泉は、上山温泉、福島の東山温泉とともに奥羽三楽郷に数えられています。

(4) 鳥海山と大自然の絶景

- 鳥海国定公園は、日本海に裾野を引く鳥海山と飛鳥、秋田の象潟を含む海岸部一帯で、雄大な大自然と絶景を満喫することができます。

大地の成り立ちと災害リスクを正しく認識するとともに、土地がもたらす「恵み」についても併せて理解する防災学習が重要です。

2. 「恵み」と共にある災害リスク

(1) 地震災害リスク

- 庄内平野東縁断層帯は、山形県庄内地方の庄内平野と出羽丘陵の境界部に分布する活断層帯です。遊佐町から酒田市東部、庄内町を経て鶴岡市に至る約38kmの断層帯です。庄内平野東縁断層帯南部では、全体が1つの区間として活動する場合、マグニチュード6.9程度の地震が発生すると推定され、今後30年間に地震が発生する確率が我が国の主な活断層の中では高いグループ（3%以上）に属することになります。
- 1894年（明治27年）に庄内地震（M7.0の直下型地震）が発生し、死者726名、全壊・全焼した建物は6千棟に及びました。。土地の亀裂や陥没、土砂の噴出などが多く生じたことが知られており、地盤の液状化現象などがあったものと推定されます。



図 庄内平野断層帯マップ（鶴岡市HP）

(2) 津波災害リスク

- 庄内地方の鶴岡市・酒田市・遊佐町では、津波災害警戒区域が指定されています。日本海側の地震は、震源が陸地に近い沿岸海域にあることが多く、地震発生から津波到達までの時間が極めて短いのが特徴です。これは太平洋側地域との明確な違いとなります。
- 地域別にみると、鶴岡市の岩礁海岸では海と山が迫っており、逃げ場が限られています。酒田市・遊佐町の平野部では広範囲に浸水する恐れがあることが示されています。



図 遊佐町津波ハザードマップ（遊佐町HP）

ハザードマップ(HM)
参考情報
(R8年3月時点)

山形県 地震ハザードマップ



リンク先：山形県HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

重ねるハザードマップ
(庄内地域・津波HM)



リンク先：国土交通省HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

2. 「恵み」と共にある災害リスク

(3) 水害リスク

- 庄内平野を流下する最上川下流部では河床勾配は 1/2,000 程度、河口付近では 1/5,000 程度と緩やかになり、沿川の平地部も大きな広がりを持っています。一度氾濫が生じた場合の浸水範囲は、庄内平野の広範囲に及ぶことが想定されます。
- 近年、集中豪雨等による水害が全国的に頻発しています。令和6年7月25日から26日にかけて、山形県では庄内・最上地域を中心に記録的な大雨となりました。庄内地域でも多数の被害が発生しましたが、特に酒田市荒瀬川流域では、氾濫浸水被害など甚大な被害が発生しました。

(4) 火山災害リスク

- もし鳥海山で噴火が起きると、溶岩流、噴石、火山灰、火山ガス、火砕流・火災サージ、降灰後の土石流、融雪型火山泥流、火口噴出型泥流、岩なだれなど、様々な災害が、複合的に発生する可能性があります。
- 最近では、1974年3月に小規模な水蒸気噴火が発生し、山麓一帯への広範囲な降灰や小規模な融雪型火山泥流が確認されています。この140年ぶりの噴火は規模の小さな水蒸気噴火でしたが、これからも噴火する可能性があります。噴火の前兆減少として、噴気の異常（硫黄臭・色がついている煙など）、地震の増加、地下水や湧水の異常などが挙げられます。

(5) 土砂災害リスク

- 県内では、奥羽山脈及び朝日山地等の山地に囲まれた急傾斜地が多いこと等から、がけ崩れや土石流などの土砂災害危険箇所が県内全域に点在しています。

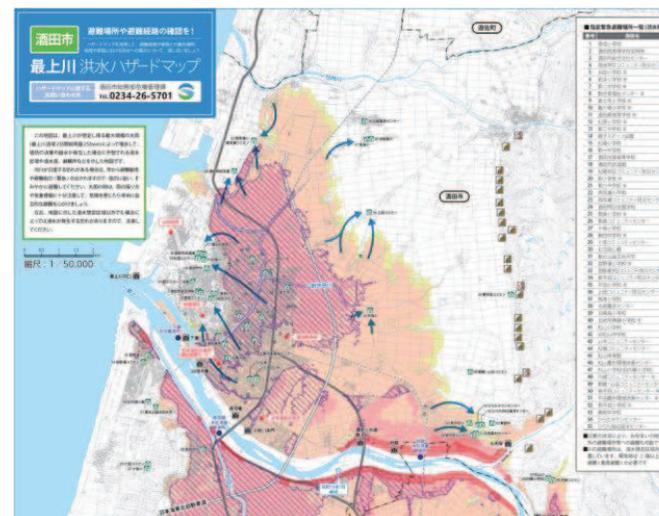


図 酒田市洪水ハザードマップ (酒田市HP)

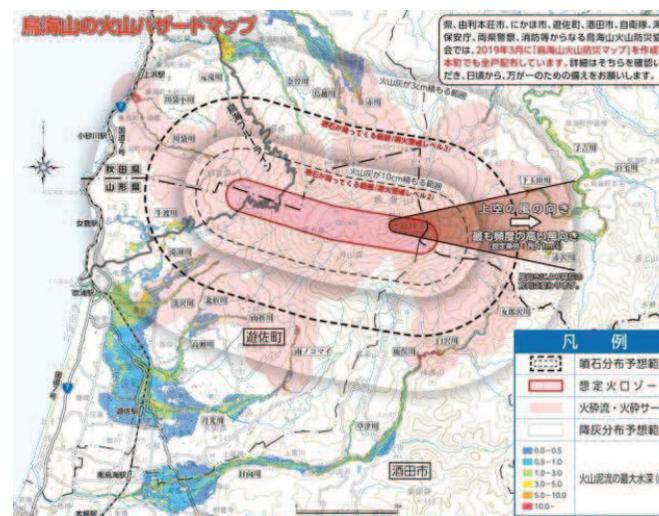


図 遊佐町火山ハザードマップ (遊佐町HP)

ハザードマップ(HM)
参考情報
(R8年3月時点)

重ねるハザードマップ
(庄内地方・洪水・土砂災害HM)



リンク先：国土交通省HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

鳥海山火山防災マップ
発行：鳥海山火山防災協議会
(事務局：山形県防災危機管理課)



リンク先：山形県HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。